

目 次

調査の概要	1
1 調査の概要	1
(1) 調査の目的	1
(2) 調査項目	1
(3) 調査の方法	1
(4) 調査実施機関	1
(5) 調査回収状況	1
2 調査回答者の特性	2
3 サンプルング	3
(1) 層化	3
(2) 標本分配	3
(3) 抽出	3
(4) 抽出結果	4
4 調査地点一覧	5
5 この報告書の見方	10
調査結果	11
1 北海道の交通ネットワークについて	11
[1] 普段の生活（通勤・通学・通院・買物等）で利用する主な移動手段と満足度	11
(1) 外出目的ごとの主な移動手段	11
(2) 主な移動手段ごとの満足度	30
[2] 公共交通機関に望む改善策	36
[3] 今の住み慣れた地域で今後も生活するために重要な要素	43
[4] 現在よりも住みやすく、また経済発展のために優先されるべき交通に関する取組	48
「北海道の交通ネットワークについて」の調査を終えて	53
2 犯罪のない安全で安心な地域づくりについて	54
[5] 犯罪被害に遭うのではないかと不安を感じる度合い	54
[6] 犯罪被害を不安を感じる要因	56
[7] 不安を感じる犯罪	60
[8] 地域を犯罪被害から守るために参加している団体	66
[9] 防犯活動団体に参加していない（参加したことがない）理由	70
[10] 地域を犯罪被害から守るために必要な活動や対策	72
[11] 犯罪被害者支援として地方公共団体が果たすべき役割	79
「犯罪のない安全で安心な地域づくりについて」の調査を終えて	85

3 地球温暖化問題について	86
[12] どの様なときに地球温暖化の影響と感じるか	86
[13] 地球温暖化の影響に対応するために必要な対策や取組	90
[14] 地球温暖化防止に向け取り組んでいる内容、今後取り組みたいこと	94
[15] 地球温暖化防止を進めるために必要な取組	99
「地球温暖化問題について」の調査を終えて	104
4 エネルギーに関する意識について	105
[16] 地球温暖化対策を進めるために必要なエネルギーに関する取組	105
[17] 我が国のエネルギーのあり方についての考え	109
[18] 重点的に導入拡大を進めるべき再生可能エネルギーは何か	112
[19] 再生可能エネルギーの普及と国民負担についての考え	116
[20] 電気料金の値上げの影響	118
[21] 「エネルギーの地産地消」の取組についての考え	120
[22] 再生可能エネルギーの導入拡大に向けた支援策	123
「エネルギーに関する意識について」の調査を終えて	126
5 障がい者の差別の解消の推進について	128
[23] 障がいのある方との関係	128
[24] 障がいのある方に対する差別の見聞き（経験）	131
[25] 「障害者差別解消法」の認知度	133
[26] 「障害者差別解消法」施行後の変化	135
[27] 「障害者差別解消法」の認知度を向上するための取組	139
「障がい者の差別の解消の推進について」の調査を終えて	143
6 家庭及び地域の教育力について	144
[28] 家庭の教育力の低下に関する認識	144
[29] 家庭の教育力が低下していると思う行為	146
[30] 家庭の教育力が低下していると思う原因	151
[31] 地域の教育力の低下に関する認識	156
[32] 地域の教育力が低下していると思う原因	158
「家庭及び地域の教育力について」の調査を終えて	163

7 安心して暮らし続けることのできる地域づくりについて	164
[33] 現在住んでいる市町村に今後も住みたいか	164
[34] 日々の買い物への満足度	166
[35] 理想的な子どもの数	168
[36] 実際に持つつもりの子どもの数	171
[37-①] 「実際に持つつもりの子どもの数」が「理想的な子どもの数」に比べ少ない理由	173
[37-②] 「実際に持つつもりの子どもの数」が「理想的な子どもの数」に比べ少ない最も重要な理由	180
「安心して暮らし続けることのできる地域づくりについて」の調査を終えて	183

資料編

クロス集計表（比率）	184
調査票	309
世論調査実施状況（昭和40年度以降）	329

